

# IV 下水道事業

## 1 下水道事業の現状と課題

### 1 下水道の役割

下水道は快適な都市生活に欠かせない、最も基本的な施設の一つである。浸水被害を防ぎ、トイレの水洗化を簡単にし、汚水を排除して、市民に健康で安全・快適な生活環境をもたらしている。また、生活排水で汚れた公共用水域の水質保全のために必要不可欠であるなど、都市の水循環サイクルの重要な構成要素になっている。今後はその施設の有効利用など、多目的な活用にも期待が高まっている。



### 1 雨水の排除(浸水の防除)

梅雨や台風の時も、家の浸水や道路の冠水を防ぐ。

### 2 周辺の環境の改善

側溝がきれいになって、悪臭やハエ・蚊の発生を防ぐ。

### 3 トイレの水洗化

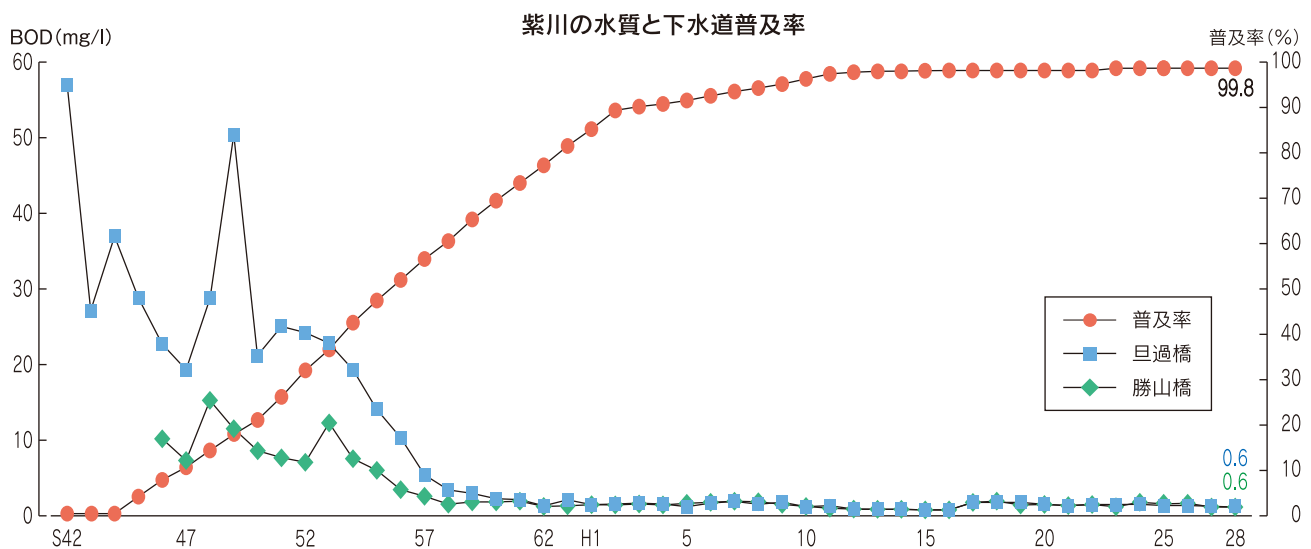
トイレの水洗化が手軽になり、清潔で快適な生活が送れる。

### 4 水質の保全

汚れた水が流れ込むのを防ぎ、豊かな自然環境を守る。

### (1) 美しくなった紫川

北九州市のシンボルとして市民に親しまれている紫川は、かつてはどぶ川のような川だった。現在はアユやシロウオが遡上し、上流ではホタルが舞うようになった。これは、紫川に流れていた汚水が、下水道の整備によって浄化されたことが大きな理由である。このように下水道は、川や海の水をきれいにし、豊かな自然環境を守るという大きな役割を担っている。



※BOD(生物化学的酸素要求量)は、有機物質の示す指標の一つ。この数値が低いほど、水の中にゴミや汚れの有機成分が少ないことを示す。